

授業科目名・形態	介護の基本 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 智美	実務経験の有無	有	開講期	1年前期

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。また、日本における介護の概念の変遷を概観しながら、自立に向けた介護とは、介護サービスとは何かなど介護福祉の基本理念について考察する授業内容とする。

【到達目標】

- 1) なぜ介護が必要になってきたか、介護の概念の変遷について理解する。
- 2) 介護業務を行うにあたって、利用者の主体性や自立の重要性を理解する。
- 3) 介護の専門性について考え、専門職に求められるものは何か理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護福祉とは
- 第 2 回 日本における介護の成り立ち① - 介護の意味
- 第 3 回 日本における介護の成り立ち② - 戦前、戦後の社会福祉政策
- 第 4 回 日本における介護の成り立ち③ - 老人福祉法制定の背景
- 第 5 回 専門職による「介護」が誕生した社会的な背景
- 第 6 回 介護の概念の変遷：1970 年代 - 老人の収容施設の整備・老人医療費の無料化等
- 第 7 回 介護の概念の変遷：1980 年代① - 老人医療費の有料化・老人家庭奉仕員等
- 第 8 回 介護の概念の変遷：1980 年代② - 社会福祉士及び介護福祉士法の成立等
- 第 9 回 介護の概念の変遷：1990 年代① - 福祉関係八法改正・老人訪問看護制度等
- 第 10 回 介護の概念の変遷：1990 年代② - 新ゴールドプラン・社会福祉基礎構造改革等
- 第 11 回 介護の概念の変遷：2000 年代① - 介護保険法・身体拘束ゼロ・訪問介護
- 第 12 回 介護の概念の変遷：2000 年代② - 医行為・介護福祉士の業の変遷
- 第 13 回 介護福祉の基本理念とは
- 第 14 回 尊厳を支える介護
- 第 15 回 自立を支える介護

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I 中央法規出版（株）

【参考文献】

・黒澤貞夫，人間科学的な生活支援論，ミネルヴァ書房

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

高齢者施設での利用者支援の経験を活かし、適切なケアを提供できるような実践的授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

「介護とは何か」という問題意識をもって臨んでいただきたい。予習復習をしてください。